



モスクワ日本人学校

しらかば

第9号

モスクワ日本人学校
一人一人が輝く学校
笑顔あふれる学校

児童生徒数131名

(E-mail)

school@mosnichi.com

(URL)

<http://www.mosnichi.com>

弱いところを大切に

校長 石川 賢

朝の登校の一コマです。上級生が、「私が運んであげるよ」と言って、荷物をたくさん持った低学年のリュックを肩に担ぎ校舎に向かいます。低学年の子も嬉しそうに頷き、後を追います。上級生にとっては当たり前のことです。冷気の中ですが、心温まる光景です。

以前、「江戸しぐさと日本の子育て」と題した講演を聴きました。その時のメモには、興味深い江戸庶民の生活の知恵と一緒に次の言葉が記されています。不思議と、師走を迎えると思い出す言葉です。

豊かな社会とは、弱いところを大切に
する社会のこと。社会の弱い部分を大切に
していくことで、社会のバランスが回復
していく。逆に、弱さを切り捨てれば、
すさんだ社会になる。

この言葉の「社会」を「心」や「学

び」と読み替えてみます。

「豊かな心を育む」ということは、自身の弱さを認めると共に、他者の「弱い」ところに温かい眼差しを向ける思い遣りの心を育てることです。また「豊かな学びをつくる」とは、互いに「当てにし、当てにされる」関係の中で、各々がもっているものを全て出しきり、学び合い高め合う子どもを育てることです。

冒頭紹介したような子どもたちの振る舞いが嬉しく、「心の大掃除」と題した話を全校朝会でした。心の在り様は、「目」「態度」「言葉」に表れることを具体例を交えて話しました。そして、「目：輝いていますか」「態度：やさしいですか」「言葉：あたたかいですか」と問いかけました。子どもたちには心静かに振り返り、思い遣りの心をじっくりと育んでほしいと思っています。